



個室ユニット型施設 推進協ニュース

2026年
(令和8年) 3月号
No. 223

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協会
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-20-8
ベネックスS-3 4階
TEL: 045-577-4212 / FAX: 045-577-4213
MAIL: info@suishinkyo.net

- ユニットケア研修 契約締結の事前協議 <2面>
- 介護大学から <2面>
- 介護ニュース・ダイジェスト <4面>
- 新規賛助会員のご紹介 <4面>
- 選定調査員研修会のお知らせ <2面>
- 施設紹介 (寿松園・静岡県) <3面>
- 第2回ユニットケア研修推進事業合同会議 <4面>
- ズバリ回答! 人事・労務のお悩み <4面>
- 第7回執行委員会開催 <2面>
- 施設紹介 (羽鳥の森・静岡県) <3面>
- 入会施設のご紹介 <4面>
- 事務局から <4面>



森英介会長訪問



中村裕之事務局長訪問

ユニットケア研修 契約締結の事前協議 <2面>
介護大学から <2面>
介護ニュース・ダイジェスト <4面>
新規賛助会員のご紹介 <4面>

全国個室ユニット型施設推進協会の赤枝眞紀子会長は3月6日、先の衆院選で当選した個室ユニットケア推進議員連盟の森英介会長（千葉11区）と中村裕之事務局長（北海道4区）をそれぞれ国会内に訪ね、祝意を伝えると共に今後、一層の連携強化を図っていくことをお互い確認した。2026年度は次の介護報酬改定に向けた政府内の議論が本格化する。他業種との賃金格差是正や担い手不足への対応、外国人人材が活躍できる環境整備など課題が山積する中、推進協はユニット議連との協働を一層強め、積極的な政策提言を行っていく構えだ。

訪問には推進協理事を務める全国個室ユニット型施設推進政治連盟の佐々木亀一郎代表も同行し、選挙戦の労をねぎらった。当選13回を数える森氏は2月18日に召集された特別国会で衆院議長に選出された。赤枝会長、佐々木代表からお祝いのあいさつを受けた森氏は、三権の長という立場からユニット議連の会長職を辞し、同じ自民党の木村義雄参院議員（比例、今年2月に繰り上げ当選）に後任を託したいとの考えを明らかにした。赤枝、佐々木両氏は長年の尽力に感謝し、推進協に対する変わらぬ厚意と協力を要請した。懇談の中で森氏はユニット型施

設との関わりについて、東北大時代の寮友で後に建築家としてユニットケアの普及に大きな功績を残した外山義・京都大教授の影響が大きかったというエピソードを紹介。また家族の一人が千葉県内のユニット型施設に入所したと明かし、改めて人手不足や食材費高騰など介護現場が抱える問題の深刻さを実感していると述べた。赤枝会長が外国人介護人材はもはや現場で欠かせない存在になっていると説明したのに対して、森氏は「木村（義雄）氏は外国人人材が活躍できるようにもっと日本は門戸を開くべきだと早くから主張していた」と話し、新体制とな

るユニット議連に期待を表した。ユニット議連の会員拡大へ
続いて中村裕之事務局長との懇談が衆院第2議員会館の議員事務室で行われた。懇談では6回目の当選を果たした選挙戦が話題となった。高市早苗首相が早々と公示後2日目に応援で選挙区入りしたことに触れ、中村氏は「高市首相を支える立場の候補者のところには早めに入ってくれたようだ。あれで勢いがついた」と振り返った。
高市首相は「推進協ニュース」25年1月号に前経済安保担当相の立場で登場。中村氏、赤枝会長との新春鼎談で「個室ユニット型がこれから基本になっていく時代」だとし、推進協の活動に理解を示した経緯がある。赤枝、佐々木両氏は鼎談開催の労を執った中村氏に改めて感謝の言葉を述べた。衆院選での自民党圧勝に伴い、

ユニット議連 森会長、中村事務局長が衆院選当選 赤枝会長、佐々木政治連盟代表が祝意

推進協主催の研修予定

推進協 2026年度
社員総会
7/2 (木)
15:00 - 16:00
開催方法 Zoom ミーティング
※正式な通知は6月頃発送予定

- (4月～5月)
全てオンライン開催となります。
★第1回実地研修施設募集説明会
5月19日14時～15時
内容・実地研修施設になるまでの流れを説明。参加費は無料。
対象者・個室ユニット型施設の介護職員。ユニットケアを正しく理解するためのステップを学ぶ。
★自己診断研修会
ユニットケア定着状況の自己診断にチャレンジ!!
・第1回 4月13日、20日、27日 ※3日間で1セット。募集締切は4月9日。参加費は無料。
★ADL維持等加算対応パーセルインデックス研修
※会員価格で受講可!
内容・ADL維持等加算査定の流れ、パーセルインデックスの測定方法(受講後、修了証書発行)
・第1回5月11日募集締切4月20日
★安全対策体制加算対応研修会
※会員価格で受講可!
・第1回 5月18日
募集締切4月28日
★おすすめの研修!!!
★ユニットリーダー研修
・第1回 5月13日～14日
募集締切4月14日
★ユニットケア施設管理者研修
・第1回 5月27日～28日
募集締切4月28日
各種研修はホームページより。

介護報酬に賃スラ、物スラの導入を要望中!!

推進協は賃金上昇率、物価上昇率に連動（スライド）させて介護報酬を引き上げるよう求めています。

令和8年度ユニットケア研修に向けて始動 実地研修施設の募集も開始

推進協は1月30日、都道府県及び政令指定都市に対し、来年度のリーダー研修等ユニットケア研修事業の実施に向けて契約締結の事前協議に入った。事業開始は例年通り4月が予定されている。

ユニットケア研修は、厚生労働所の通知により、研修団体の推進協が都道府県及び政令指定都市との業務委託契約を締結することにより行われることとなり、これが自治体の事業年度に併せて毎年契約手続きの更新が行われている。

未契約自治体の解消に取り組む
ただ、これまで契約が締結されていない自治体も数多く残っている。未契約自治体にはこれまでも契約の締結をお願いしてきたものの、現状でニーズに足りていないや実地研修施設が無い等の理由で契約締結を見送られており、大きな課題として残る。

なお、研修事業の内容については、大きく変更はないものの、サブ講師を付け充実を

図る一方で、効率性を上げるため実施回数はやや減らし、調整を図った形となった。管理者研修の高齢者の生活環境は廃止し、ユニットケアの理解を代わりに入れた。

最大の課題は実地研修施設不足の解消
推進協はユニットケア研修事業を今後も円滑に実施していくうえで、実地研修施設の不足が最大の課題と捉えている。実地研修は研修生が施設に赴き、三日間の日程で行われるため、どうしても近場の施設が選ばれる傾向にある。現在、推進協では実地研修施設が所在しない都道府県は28自治体を数えている。

この対策として、2026年度においては、これまで行ってきた自己診断研修会と実地研修施設募集説明会について管理者研修との連動を図ることとし、広く募集を行う予定だ（左図）。さらに、実地研修施設が所在しない自治体の会員施設への個別の働きかけを強化している。

当該会員施設に対する働きかけはこうだ。まず施設が所在する県には実地研修施設が無く、今すぐにでも欲しい状況であることを説明する。次にアドバイザーを無料で派遣し、実地研修施設になれる可能性を実感してもらおう。そして、実地研修施設になるための具体的な取組を始めていた

ただ、実際に実地研修施設になるまでは一年程度かかっているのが実情（推進協事務局）という。ただ、実地研修施設には、推進協が主催する各種の特別な研修や連絡会議などスキルアップと情報交換の場が恒常的に設けられており、管理者のみならずユニットリーダーや一般職員にもメリットのある取り組みが行われている。

ユニット型施設にとつて実地研修施設の存在は、リーダー研修等を通じて認識しているものの、メリットとは何かまで十分説明できていなかった点は反省点（推進協事務局）としており、今後はこの点も周知に努めるとしている。

ユニットケアのモデル施設になりませんか？

実地研修施設募集!!

令和9年度4月開始

応募要件 ???

- ✓ ユニットケア導入後、3年以上
- ✓ 施設管理者研修・リーダー研修修了者が2名以上勤務

メリット

- ◆ 実地研修施設間の情報交換
- ◆ 同スキルアップ研修受講可
- ◆ 質の向上

ご興味がある方は是非ご連絡ください。

045-577-4212

サポート体制

- ▶ アドバイザー派遣（無料）
- ▶ 担当者の設置

その他特別な支援

- ・ ユニットケア実務研修（有料）
- ・ ユニットケア改善プログラム（有料）
- ・ 自己診断研修会（無料）

詳細はHPより suishinkyo.net

【問い合わせ】
一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新橋5-20-8
パナソニックビル3・4階
TEL: 045-577-4212
E-mail: info@suishinkyo.net

（注）推進協が全国に配布を予定しているチラシ。特に実地研修施設のない自治体の会員施設に協力を求めている。

5月21～22日大阪で開催 選定調査員研修会のお知らせ 実地研修施設に参加を要請中

推進協では昨年度に続き5月21～22日、大阪において一泊二日の日程で選定調査員研修会を開催します。実地研修施設の方は是非ご参加ください。

対象者 選定調査員、実地研修施設の施設長他希望者

日程 5月21日(木)13時～22日(金)10～15時

場所 大阪市内 ⑩宿は各自で確保願います。

内容 1日目、選定調査での実際の評価方法意見交換で実施)⑩夜は近辺で懇親会を予定。2日目、カリキュラム見直し案の検討、実地研修施設向けリーダー研修の開催会を設ける事について検討など)講師決め意見交換。

- ・ 詳細及び申込1月28日付の留意事項通知の文書を参照
- ・ 申し込み締め切りは3月23日(月)。

10月に20周年式典を開催へ 第4回理事会の議案を了承 第7回執行委員会

推進協は2月27日、今年度の第7回執行委員会をオンライン形式で開催した。3月12日に行われる第4回理事会に諮られる議案などについて討議し、了承した。

理事会には報告事項として昨年12月以降の事業報告のほか、推進協設立20周年を祝う式典開催の概要が示される。式典は今年10月16日、推進協役員や会員施設の施設長など100～150人程度が参加し、東京都内のホテルで行われる。式典に合わせ、推進協の20周年を振り返る役員らによる座談会や年譜、赤枝雄一前会長の功績を偲ぶ特集記事などを盛り込んだ「記念誌」も発行される予定だ。議案としては2026年度の事業計画案と予算案、新規入会施設の承認について審議が行われる。

理事会終了後には続けて理事懇談会が開かれる。昨年実施された前期改定（24年、26年）で積み残した26年分の臨時介護報酬改定を経て、今年度は27年度の介護報酬改定（本改定）に向けた議論が本番を迎える。推進協として積極的な取り組みが求められる。理事懇談会では厚労省の介護給付費分科会の議論を注視しつつ、個室ユニットケア推進議員連盟や自民党有志らの動きにどう対応していくのかが話し合われる予定だ。ただ、26年度の臨時介護報酬改定については、生産性向上加算の算定が要件となった7千円相当分の処遇改善加算については、その要件の厳しさ故に算定が困難であったり、国が一方向的に定めた2千円相当の定期昇給分については財源がないなどの問題を指摘する声も多い。また、今般の臨時介護報酬改定は、その前段となった25年度の補正予算措置と同等の内容を確保するもので、いわゆる26年春闘でのアップは見込まれていないなど問題も残っており、物価が上昇し始めたここ数年の介護報酬の水準や改定の在り方について、まずは足元の丁寧な分析が求められることとなる。

介護大学校から

- 令和7年度介護大学校実務者研修開講実績
- ▽4月開講：岐南仙寿うれし野分校（岐阜県）・慈眼寺園分校（鹿児島県）・みなみの苑分校「2クラス」（埼玉県）
 - ▽5月開講：燦燦分校（岐阜県）・しょうじゅの里三保サテライト分校（神奈川県）・しょうじゅの里小野分校（神奈川県）・ふあみいゆ行田分校（埼玉県）・ところの苑分校（埼玉県）
 - ▽6月開講：飯島分校（秋田県）
 - ▽7月開講：しょうなあさひが丘分校（愛知県）・あさくら苑分校（福井県）・はくとふる分校（東京都）・みんなと暮らす町分校（神奈川県）・フレンド神木分校（神奈川県）・和楽館分校（神奈川県）・生田まほろば分校（神奈川県）・等々力分校（神奈川県）・おだかの郷分校（神奈川県）
 - ▽8月開講：佐賀吉野ヶ里分校（佐賀県）・ふあみいゆ行田分校（埼玉県）・七里分校（埼玉県）
 - ▽9月開講：森の里高知分校（高知県）
 - ▽10月開講：東雲の丘分校（沖縄県）
 - ▽11月開講：陽だまり分校（福岡県）
 - ▽12月開講：明尺苑分校（千葉県）
 - ▽R8年1月開講：湘南くすの木分校（神奈川県）
 - ▽R8年3月開講：しょうなあさひが丘分校（愛知県）
- 以上、25校28クラスで開催されました。
- 各分校の皆様には、実務者研修の円滑な業務遂行に貢献いただきありがとうございます。
- 特に、講師派遣におきましては、分校責任者ならびに講師の皆様のお力添えにより、スクーリングを実施する事が叶いました。また、これが交流の機会となり、分校間の絆も一層強まったように思います。
- 介護大学校は、実務者研修の更なる質向上を目指し、さまざまな取り組みを計画・実践して参ります。



社会福祉法人 珀寿会

羽鳥の森

各ユニットの個性を活かした

自由な雰囲気施設の施設作りが人材確保に貢献



羽鳥の森の全景 (HPより)

【施設紹介】

特別養護老人ホーム羽鳥の森(前田万正ホーム長)は、静岡市の中心部から山側に向けて車で20分、住宅地の奥まった静かな所にある。2011年10月にオープンし、全室個室ユニットで110床、4階建てで、木目を活かした生活感のあるデザインを採用している。

なお、静岡県は東西に長く、よく東部、中部、西部、伊豆と四つに区分して言われる。静岡市は中部に該当する。人口66万人余りの政令指定都市でもある。



木材を多用した室内の様子



併設のデイサービスセンター

【法人の紹介】

羽鳥の森を運営する社会福祉法人珀寿会は、平成19年に創設され、現在、静岡県沼津市、富士宮市、静岡市葵区、静岡市清水区、伊東市、焼津市、神奈川県秦野市において8つの特養を展開し、また富士宮市には認定こども園や地域包括支援センターなども経営している。

【施設経営】

11ユニット有るが、六つのチームが設けられ、それぞれ工夫を凝らし特色のある運営をしている。統括の根城隼太氏は、「施設運営の制度(職場のルール)設計のためには共同体の構成員、ご利用者様と職員、家族といった関係者の個性のあり様を反映することが大切で、個性を発揮するためには設計単位が小集団であるほどそれは行いやすく、その時に施設がマクロ的に制度設計をしようとする

ことは、小集団にとっては個性の「侵害」と話し、小集団の活性化を大事にしている姿勢を語る。実際、個性を表す取り組みがユニット毎に行われている。ユニット



ユニットでの取組の様子

ト会議でどんなイベントを行うか、ユニットの職員が代わる代わる担当し、工夫を凝らす議論が盛んにおこなわれるという。

この点について、前田万正ホーム長は、「職員の話を粘り強く聞くなど職員を大事にする姿勢から生まれている」と分析している。

【人材確保】

前述した小集団を活かす取り組みのため、これまで離職率は低かったものの、最近、人材確保のため、求人用のプロモーション動画を作成したとのこと。

動画に登場する勤続10年、元リーダーのベテラン職員は、「環境もいいです。経験の無い方も安心してここへ来ていただければ職員が一からお教えることも出来ますし、ゆっくりでもいいから覚えていただく事が出来ると思います。」と話す。

施設の経営方針が如実に出て印象を受けた。



根城統括(左)と前田ホーム長(右)



社会福祉法人 桔梗苑福祉会

寿松園

地域密着の特性を活かし

時間がゆっくり流れる施設で家庭生活の延長を目指す



寿松園の全景 (HPより)

【施設紹介】

地域密着型特別養護老人ホーム寿松園(小出拓治施設長)は、静岡県湖西市にある。湖西市は静岡県の最西端で、西に愛知県、北に浜松市、そして東の浜名湖と南の太平洋に接する。全国で唯一現存する関所建物の新居関所もある。

この辺りの町中に入っていると、いわゆる太平洋ベルト地帯のど真ん中と感ずる。あちらこちらに多様な製造業の工場が見える。自動車産業だ。湖西市もそうした土地柄を反映し、財政的にも良い影響を受けている。ただ面積はそれほど広くなく86km²で人口は5万人程度である。さて施設だが、2階建てでシヨートステイを含む4ユニット構成となっている。広々とした地域交流スペースも備えている。コロナ禍後は活用が低調で、今後の活用が課題となっている。



施設の配置図



施設の玄関



ユニットの様子

【法人概要】

寿松園を運営する社会福祉法人桔梗苑福祉会は平成25年4月に保育園の経営を目的として湖西市に創設された。その後、創設者の先代理事長の悲願であった特養寿松園を平成30年に開設している。

【お年寄りセンターと「長寿クイズ」】

地域密着型ならではの落ち着いた雰囲気のある施設だ。「小規模ならではの取組、他でやっていないようなことをやりたい」と小出施設長は話す。また、工夫を凝ら

した様々なイベントも実施しているが、興味深かったのは、同法人内の保育所と施設とをZOOMで結んで開催したクリスマス会のイベントだ。テレビ番組のご長寿クイズをまねて実施した。保育園児が画面の向こうのお年寄りセンターに質問するクイズで、かみ合わない回答に双方、大変盛り上がったとのこと。今年、初めての取り組みだったが、来年以降は二つの保育所と繋いでやりたいという。確かに想像しただけで面白い気がする。出来れば本番を見てみたい。

【小規模ならではの良み】

小出施設長は過去の介護施設での勤務経験と比較して、ここでは時間がゆっくり流れると、「入浴時間が1人30分とれるし、何か決めるのも早い。職員の数も多くなく顔なじみで、入居者から職員に声掛けがある」と良さを語る。寿松園のコンセプトは家庭生活の延長線としており、それが出来るのが地域密着型ユニット型施設の特長と続ける。

リーダー研修の現地研修施設となることについても考えているとのこと。この良さを現地研修生にも早く実感してもらいたいものだ。

一方でサービス付き高齢者向け住宅との競争が厳しい現状にあることも事実のようで、いかに選んでもらえる施設にするかが今後の課題という。



小出施設長

介護「ユース・ダイジェスト

1月26日
2月25日

■厚労省 協働化・大規模化のガイドラインを公表(1月30日)

個々の介護施設・事業所では対応が難しい経営上の課題に、他の事業者との連携により解決が図られるケースが多いとして、全国16カ所の事例に基づいた「経営の協働化・大規模化の進め方ガイドライン」を作成、周知した。

■医療・福祉に携わる外国人労働者は14万6000人(1月30日)

厚労省は昨年10月末時点の「外国人雇用状況」のまとめを公表した。「医療・福祉」に携わる外国人は前年同期より約26%増加して14万6105人だった。

■東京都 介護施設の代替職員雇用支援を予算化(1月30日)

中小法人が運営する介護施設・事業所の職員が育休や介護休業を取得した際、代替職員の雇用や職務代替手当にかかる経費として、都が独自に最大200万円を支給する新事業を26年度予算に盛り込んだ。国の助成金(30万円)に乗せする形で実施される。

■厚労省 LIFIEの説明動画を公開(2月5日)

昨年11月に開かれた科学的介護情報システム(LIFIE)に関する第1回説明会の動画と説明資料を公開した。24年度報酬改定での変更点や活用方法などについて介護施設・事業所と自治体それぞれに向けた説明が行われている。

■高市首相 今夏までに「国民会議」中間とりまとめ(2月9日)

衆院選結果を受け、自民党総裁として行った会見で「少なくとも夏前には国民会議で中間取りまとめを行いたい」と述べ、社会保障改革に向けた超党派での議論を進めていく考えを示した。

■上野厚労相 26年春闘でも5%超の賃上げを期待(2月10日)

閣議後会見で春闘の賃上げ率が2年連続で5%を超えたことに触れ、今年の春闘についても「遜色

のない水準での賃上げ、とりわけ物価上昇を上回る賃上げが実現することを期待している」と述べた。

■厚労省 関係部局長会議資料ウェブサイトに掲載(2月10日)

老健局の資料では次期介護保険制度のあり方、今年度補正予算に盛り込まれた賃上げ支援策、26年度に行われる臨時の介護報酬改定(期中改定)などに関する説明が行われている。また、黒田秀郎老健局長による説明動画も併せて公式YouTubeチャンネルで公開された。

■WAM調査 特養の不足人員は平均5.5人(2月12日)

福祉医療機構(WAM)は25年度の「特別養護老人ホームの人材確保に関する調査」の結果を公表した。職員が不足していると同答した施設は64.0%で24年度調査より5ポイント低下したが、不足人員数は平均5.5人と24年度調査の3.6人から増加した。人材確保が難しい要因に関する質問では「他産業より低い賃金水準」を挙げた施設が77.9%(複数回答)を占め、24年度調査から12ポイント以上も上昇した。

■診療報酬改定 介護施設の後方支援を効率化(2月13日)

中医協は来年度の診療報酬改定の内容を厚労相に答申した。協力医療機関による介護施設の後方支援を効率化する観点から、施設入所者の入院や往診に関する加算の要件とされるカンファレンスの頻度を、ICTによる情報共有を行う場合は年1回、そうでない場合は原則年3回に見直すとした(現行はそれぞれ年3回と月1回)。

■厚労省 LIFIEの加算を「2階層化」へ(2月16日)

LIFIE(科学的介護情報システム)関連加算について、現在約9割の施設・事業所が算定している科学的介護推進体制加算を1階層目の加算とし、同加算の取得を

前提に、それ以外の関連加算を2階層目と位置づける見直しを介護給付費分科会で提案した。また27年度介護報酬改定では、訪問介護など現在対象外とされるサービスにLIFIE関連加算を新たに導入することは慎重であるべきだとの考え方を示した。

■推進協 横浜市の個人情報事務調査を受審(2月18日)

ユニットリーダー研修事業の委託契約を締結している横浜市の担当者が来訪し、同事業で使用している個人情報の取り扱い状況について、データの管理方法や書類の保管場所等に関し調査を行った。例年実施している。

■特養の生産性向上推進体制加算の取得率は約3割(2月18日)

厚労省は介護給付費分科会の専門委員会に24年度介護報酬改定の効果検証調査の結果を報告した。生産性向上推進体制加算の算定状況は特養で加算Iが2.8%、加算IIが31.9%だった。老健は同じく3.0%と33.2%だった。同加算の取得は来年度の臨時報酬改定に盛り込まれる介護職員を対象にした賃上げの上積み(月7000円)の要件とされる。

■協力医療機関選定の要件を満たす特養は約3分の2(2月18日)

介護施設に義務付けられている協力医療機関の選定(26年度末まで経過措置)について、①常時相談対応②常時診療③入所者の入院原則受け入れ(病院に限る)の3要件すべてを満たす医療機関を定めている特養は67.9%だった。厚労省が介護給付費分科会の専門委員会に報告した。

■WAM調査 従来型特養は約45%の施設が赤字(2月20日)

福祉医療機構(WAM)は24年度決算に基づく「特別養護老人ホームの経営状況」を公表した。収益性を示す「サービス活動増減差額比率」は従来型で1.0%と23年度から黒字幅が0.5ポイント低下。赤字施設は全体の45.2%を占めた。一方、ユニット型

は黒字幅が0.2ポイント上昇して5.1%となった。赤字施設割合は31.5%だった。

埼玉県の施設が合格 第2回ユニットケア研修 推進事業合同会議

今年度第2回ユニットケア研修推進事業合同会議(鳥海房枝委員長代理)が3月2日、オンライン形式で開かれ、実地研修施設選定調査に基づく合格が審議された。審査対象となったのは、社会福祉法人美しの里特別養護老人ホーム梨花(埼玉県東松山市)。埼玉県では2つ目の実地研修施設となる。調査員から調査結果と施設に関する概況が報告され、審議後、基準点以上であることから委員長が選定することを決定した。

なお、今回より新規委員として加わった松本均氏(横浜市福祉サービス協会事業推進室担当部長)の紹介も行われた。

新たに実地研修施設となった施設

埼玉県 社会福祉法人美しの里
特別養護老人ホーム梨花
埼玉県東松山市大字東平
656-1-1

入会施設の紹介

【静岡県】(特養) 羽鳥の森
(福) 珀寿会
理事長 吉川瑞馬
施設長 前田方正
静岡県静岡市葵区羽鳥7丁目6-38

【会員施設数】 395施設
(令和8年2月28日現在)

新規賛助会員の紹介

●とはなす株式会社
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1 オーシャンゲートみなとみらい8F
代表取締役 下平光明
【賛助会員数】 21事業所
(令和8年2月28日現在)

ズバリ回答！人事・労務のお悩み 人事評価制度で、賃金が決まる？

【今月の相談内容】

当施設は、人事評価により賃金を決定しています。しかしながら、予算の関係から、評価者の評価の人数等が限定される規定になっていきます。そもそも人事評価とは、賃金を決定する仕組みでしょうか？

【回答】

人事評価制度を運用する目的は法人や施設によって異なります。貴施設のように、賃金決定のために行われている法人もあれば、あくまで人材育成のためだけに活用している法人もあります。

もともと人事評価には、大きく分けて「処遇への反映」と「育成・成長支援」という二つの役割があります。前者は、評価結果を昇給・賞与・昇格などに反映させることで、組織としての成果配分の公平性や納得感を担保する役割です。一方、後者は、評価を通じて強みや課題を明らかにし、次に何を伸ばすべきかを本人と共有することで、職員の成長を支援する役割です。

予算の制約により評価結果の反

映幅が限定される場合、「評価しても給料が変わらないなら意味がない」と感じられることもありま

す。しかし、人事評価の価値は賃金決定だけにあるわけではありませ

ん。評価基準を通じて法人が大切にしている行動や姿勢を示し、面談を通じて期待や課題を言語化すること自体が、職員の成長と組織力の底上げにつながります。さらに、評価を継続的に行うことで、配置や役割分担、育成計画の見直しにも活用でき、組織運営の質そのものを高める効果も期待できます。

賃金への反映はその一部であり、むしろ「育成のための評価」と「処遇のための評価」をどうバランスさせるかが、制度運用の本質と言えるでしょう。

今後、人事評価制度は見直しを行う時期に入ってきています。人事評価制度は、大きく人事制度の一部です。人事制度内の整合性を確保するためにも、社会保険労務士等の専門職にご相談されることをお勧めいたします。

推進協監事・特定社会保険労務士
ITコーディネーター
栗田淳二

す。推進協ニュースの送付先変更なども随時事務局までご連絡ください。(井田)

時間 13:00~16:45

一般職員向けのオンライン研修

ユニットケア基礎研修

【内容】
ユニットケアの理念と特徴他(GWあり)

ユニットリーダー研修と同じテキストを使用。同じ講師が担当いたします。